

平成26年度大学院科目等履修生
(学部・大学院一貫教育プログラム)
説明会 3月19日(水) 16時~17時,
経済学研究科棟・3階第3教室

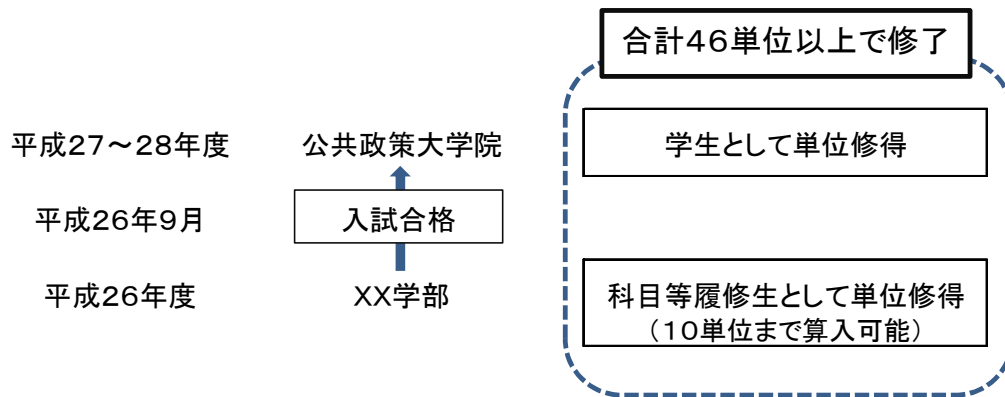
平成26年度より、本学の学部学生が科目等履修生として大学院の科目の単位を修得することができますようになります。

公共政策大学院では、この制度を利用して、**公共政策大学院に進学を志望する学部在学学生(若干名)**に対して、**下記科目を科目等履修生として履修できるプログラムを始めます。**

Microeconomics, Practice Session for Microeconomics (夏学期・合計5単位)

Macroeconomics, Practice Session for Macroeconomics (夏学期・合計5単位)

これらの科目は経済政策コースの必修科目であり、その他の経済分野の授業科目に先だって履修すべき科目と位置づけられています。学部中級レベルのミクロ経済学、マクロ経済学の知識があることが履修の前提となります。



※ 平成27年4月入学の場合のスケジュール
平成26年9月卒業・10月MPP/IPコース入学も可。

- ・ **科目等履修生として修得した単位は、10単位を上限として公共政策大学院の修了要件である46単位に算入することができます。**この制度のメリットは、大学院で修得する必要がある単位を減らすことで、在学時の学習の自由度が増すことです。例えば、修了要件を気にせずに海外留学での学習計画を建てられる、ダブルディグリー取得に必要な期間を短くできる、単位にならないインターンに従事することができる、などの活用方法が考えられます。
- ・ ただし、専門職学位課程の規定により、在学年限(2年)を短縮することはできません。
- ・ プログラム参加者は書類選考によります。
- ・ 公共政策大学院に進学するためには通常の大学院入試を受験し、合格する必要があります。
- ・ 書類選考で選ばれなくても、その後の通常の大学院入試を受験できます。入試で不利に扱われることはありません。
- ・ 4月入学だけでなく10月入学の国際プログラムコースに進学する学生も、このプログラムに参加できます。
- ・ 科目等履修生として修得した単位は、学部卒業に必要な単位に算入することはできません。

平成26（2014）年度夏学期

東京大学大学院公共政策学教育部

大学院科目等履修生（学部・大学院一貫教育プログラム）出願手続きについて

1. 受入人員

若干名

2. 出願資格

東京大学を平成26年度に卒業見込みの者

3. 入学時期

平成26年4月

4. 出願手続

(1) 受付期間

平成26年3月17日（月）～28日（金）

(2) 願書提出先

提出書類を公共政策大学院係の窓口を持参すること

5. 提出書類

(1) 大学院科目等履修生入学願書

(2) 科目履修願

(3) 学部の成績証明書（前期課程を含む出願時現在のもの）

※(1)、(2)の様式は、公共政策大学院ウェブサイトのNewsからダウンロードすること。

<http://www.pp.u-tokyo.ac.jp/news/2014/03/news20140310.html>

6. 選考方法

書類審査による。

ただし、必要に応じ面接試験を行うことがある。該当する場合は、別途通知する。

7. 入学許可通知

(1) 選考の結果、新規出願者で履修を許可された者には「入学許可通知書」及び「入学手続要領」等を、不許可となった者には「入学不許可通知書」を4月15日（火）にそれぞれ本人宛に郵送する。

(2) 許可の通知を受けた者は、所定の期間内に必要な手続を行うこと。所定の期間内に手続を行わない場合には、入学しないものとして取り扱うので注意すること。

8. 注意事項

(1) 大学院科目等履修生は学期毎に入学を受け付ける。

(2) 本教育部で大学院科目等履修生の対象科目として承認された科目のみ、履修することができる。

9. 問い合わせ・連絡先

東京大学大学院公共政策学教育部公共政策大学院係

本郷キャンパス第2本部棟6階 電話03-5841-1349

開室時間：9時～12時、13時～17時